



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2016.5.10
第1493号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入ってます」

1,100人が集結

全ての核燃・原発施設の廃炉を

『4・9反核の日』全国集会

今年で31回を数えた「4・9反核の日」全国集会が4月9日、14時から青森市の青い森公園で開催され、青森県内はもとより全国から1,100人が結集した。国労青森支部内からも43人が参加した。

反核の日集会は、1985年4月9日、当時の北村青森県知事が県議会全員協議会において「核燃サイクル施設」の受け入れを表明したことに抗議するため毎年続けられ、今年で31年目を迎える。集会では現状認識を確認することも、集会終了後デモ行進に移り、シユプレヒコイルで六ヶ所再処理工場や大間原発など県内の核燃サイクル廃止や全国の全ての原発の廃炉を市民に訴えた。

集会・デモ行進で県民に訴え

開会にあたり核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団代表の浅石紘爾弁護士が「唯一の被爆国である日本において核兵器の元となるプルトニウムを抽出する六ヶ所再処理工場の

運動を認めるわけにはいかない。原子力政策を進める安倍政権を打倒しよう」と挨拶。続いて主催者団体の青森県反核実行委員会の三上武志委員長も「六ヶ所再処理工場を

動かしてプルトニウムを取り出してもその使い道が無い中のサイクル事業は破たんしている。大間原発も同様である。このような状況の中、憲法を無視し原発を世界に売り込もうとしている安倍政権の暴走を止め、全ての核廃絶に向けこれからもこの闘いを取り組んで行こう」と挨拶。

次に青森県反核実行委員会事務局の山名文世八戸市議会議員から「トランプ続きの六ヶ所再処理工場の操業はアジアの非核化を妨げるばかりか、福島原発事故を見てもわからないためにも再処理計画を白紙に戻すべき」との基調報告があった。引き続き山名市議が、2月に政府から提出された「再処理抽出金法案」の撤回・廃案を求める決議案を読み上げ決議された。

さらに全国からの報告として福島県フオーラムの根本和



＝青い森公園に結集した参加者＝

動かしプルトニウムを取り出してもその使い道が無い中のサイクル事業は破たんしている。大間原発も同様である。このような状況の中、憲法を無視し原発を世界に売り込もうとしている安倍政権の暴走を止め、全ての核廃絶に向けこれからもこの闘いを取り組んで行こう」と挨拶。



「表彰式後に記念のナップ」

4月9日(土) 北上地区協恒例行事、春のスポーツレク「団結ボウリング大会」が北上市のヤングボウルで開催されました。当日は組合員、家族、退職者会の皆様に加え、過日行われた北上市議会議員選挙においで見事4期目の当選を果たした「星あつこ市議会議員」の参加も頂き、28人という例年になく参加人数で盛大に行われました。

競技ゲームは工藤慎一常任委員長の始球式(見事なスト



「デモ行進での訴え」

「2000万人署名の成功に向けて協力をお願いしたい。自衛隊や子供たちを二度と戦場に送ってはならない。野党統一候補で参院選に勝利し安倍自公政権を退陣に追い込もう」と挨拶。

各政党代表として、共産党県委員会の斉藤信副委員長、生活の党県連の佐々木順一幹事長、社民党県連の小西和子代表がそれぞれ挨拶に立ち、暴走する安倍自公政権を止めるため夏の参院選選挙区は、野党統一候補を擁立することを報告した。連増拓也岩手県知事、主浜了参議院議員、民進党県連の黄川田徹代表がメッセージを寄せた。

28人の参加で好・珍プレー

北上地区協ボウリング大会

ライク)で始まり、「倒して倒せ・頂点に立つのは誰だ」の掛け声のもと2ゲームトータルで競われました。好プレー珍プレーが続出する中でもハイレベルな戦いが繰り広げられた結果、家族の高杉均さん息、哲平さんが329点のハイスコアで見事勝利の栄冠(ちなみに高杉家は2連覇)に輝きました。厳しい闘いが続く中にも今後の闘いの英気を養う事が出来た楽しいひと時でした。

最後に、北上市議会議員選挙に対する組合員皆様のご協力に紙面をお借りして感謝を申し上げます。有難うございました。

北上地区協 児玉 勝広

テレビで流れた「熊本県熊本市震度7」の速報。4月14日夜に九州・熊本県で発生した震度7の巨大地震は、16日未明にマグニチュード(M)7.3の地震を誘発し九州島内だけでなく、中国・四国地方までの広い範囲で揺れを感じ、ゴルデンウィークに入っても余震は続いている▼「前震」「本震」とした2つの地震は、ともに震度7を観測。国内の震度7の地震は、阪神・淡路大地震、新潟県中越地震、東日本大震災の3例があるが熊本県益城(ましき)町のように同じ地区で2回震度7を観測したのは初めてという▼突然の揺れや相次ぐ余震に舞われ、家屋・家財の倒壊や震災関連死などで不幸にも命を落とされた方に衷心より哀悼の意を表すとともに、被災された方々には1日も早く「あたり前の日常」が取り戻せるよう願うばかりである▼今回の地震は、東日本大震災とは違う活断層が引き起こすタイプ。日本には判明しているだけで2000以上の活断層があり、分布図に起こせばびびり状態である。どこで巨大地震が発生してもおかしくない日本列島には50あまりの原発がある。余震活動が続く九州地方には再稼働した川内原発、隣の四国地方には再稼働が見込まれる愛媛の伊方原発がある。鉄道・空港・道路など交通インフラに大きなダメージを与えた場合、政府の唱える避難計画に疑問をもつ専門家も多い▼「川内原発を止める」という声もあがっているが、停止した原発も電源喪失で爆発事故を起こす事を福島第1原発事故で経験している。日本の将来を考えると、日本は全ての原発を廃炉にするしか道はない(孝)

戦争法ゼツタイ廃止!

500人の参加で岩手県民集会

安倍自公政権が憲法を無視し強行成立した、安全保障関連法の廃止を訴える「2000万人署名達成で戦争法はゼツタイ廃止!県民集会」(同実行委員会他3団体主催)は4月23日、盛岡市の岩手県公会堂で開催され県内各地から約500人が参加した。(国労は盛岡地区から7人が参加)

主催者を代表し「戦争法の廃止を求める全国2000万人統一署名運動を推進する岩手の手会」の佐々木良博代表が

「2000万人署名の成功に向けて協力をお願いしたい。自衛隊や子供たちを二度と戦場に送ってはならない。野党統一候補で参院選に勝利し安倍自公政権を退陣に追い込もう」と挨拶。

各政党代表として、共産党

当面の主な日程

- ▽5月14日(盛岡) 不戦を誓い平和な社会を築く岩手県民集会
- ▽5月21日(盛岡) 第2回地方本部機関紙交流会
- ▽5月26日・27日(東京) 第15回国労東日本本部軟式野球大会
- ▽6月4日(盛岡) 盛岡支部組織対策会議
- ▽6月10日(安比) 第21回地方本部ゴルフ大会

第24回参議院議員選挙 吉田忠智氏の議席確保に 各地で連携し取り組もう



第24回参議院議員選挙が6月23日告示・7月10日(日)投票の実施が予想される。地方本部もすでに比例代表

に立候補予定の社会民主党党首の参議院議員・吉田忠智(60歳)の推薦を2月14日の執行委員会で決定している。憲法改正を許さず、原発廃止と格差の是正、平和と民主主義を守り国民本位の政治を目指し、命と暮らしを守る推薦候補の議席確保と改憲勢力を当選させない取り組みに全力を挙げて行こう。

7・3の地震を誘発し九州島内だけでなく、中国・四国地方までの広い範囲で揺れを感じ、ゴルデンウィークに入っても余震は続いている▼「前震」「本震」とした2つの地震は、ともに震度7を観測。国内の震度7の地震は、阪神・淡路大地震、新潟県中越地震、東日本大震災の3例があるが熊本県益城(ましき)町のように同じ地区で2回震度7を観測したのは初めてという▼突然の揺れや相次ぐ余震に舞われ、家屋・家財の倒壊や震災関連死などで不幸にも命を落とされた方に衷心より哀悼の意を表すとともに、被災された方々には1日も早く「あたり前の日常」が取り戻せるよう願うばかりである▼今回の地震は、東日本大震災とは違う活断層が引き起こすタイプ。日本には判明しているだけで2000以上の活断層があり、分布図に起こせばびびり状態である。どこで巨大地震が発生してもおかしくない日本列島には50あまりの原発がある。余震活動が続く九州地方には再稼働した川内原発、隣の四国地方には再稼働が見込まれる愛媛の伊方原発がある。鉄道・空港・道路など交通インフラに大きなダメージを与えた場合、政府の唱える避難計画に疑問をもつ専門家も多い▼「川内原発を止める」という声もあがっているが、停止した原発も電源喪失で爆発事故を起こす事を福島第1原発事故で経験している。日本の将来を考えると、日本は全ての原発を廃炉にするしか道はない(孝)

第185回拡大中央委員会

組織拡大、春闘の取り組み確認

職場で地域で共に闘っていく

第185回拡大中央委員会
が1月24日、東京都新橋の交通ビルにて開催され、当面する闘争方針について議論が交

わされた。地本からは沢田光広地本書記長、阿部一久支部執行委員長、菊池地本執行委員が中央委員として、佐々木

力地本委員長が地方代表者として出席をした。

今委員会の任務は高野中央執行委員長の挨拶にあるように、①2015春闘②安全・安定輸送の確立と労働条件改善③組織強化・拡大について総団結で闘う意思統一を図ることにある。委員会の討論はそうした課題を踏まえ、全体で14人の委員から発言があつた。

盛岡地本からは、菊池委員が①組織拡大に向けた信頼される人間関係作り②来たる統一地方選挙を通じた新自由主義政治との対決③国鉄闘争解決後の組織のあり方などについて発言した。

委員会の中では会社間の体面差等が顕著になる中で一律復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

盛岡地本からは、菊池委員が①組織拡大に向けた信頼される人間関係作り②来たる統一地方選挙を通じた新自由主義政治との対決③国鉄闘争解決後の組織のあり方などについて発言した。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。



盛岡を代表し発言の菊池要悦委員(盛岡駅連合分会)

組織強化・拡大の課題では、赤沼委員(水戸)が「59歳、51歳の加入があつたが、世話役活動を積み重ねる中で信頼を勝ち取り拡大へつながった。青年労働者に向けた私たち自身の『目線』が問われている」とし、盛岡地本としてもこの間拡大のキーワードは「仕事」にあると語った。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

両支部で2015 団結・躍進旗開き



1月11日青森支部
＝青森労働福祉会館＝

各地区からの決意表明も行われた写真上は八戸地区参加者/締めはやっぱり肩を組んで国鉄労働組合歌



1月12日盛岡支部
＝リリオ・盛岡市＝



約90人の来賓・組合員が参加/昨年加入した阿部茂樹(写真右)さんも佐々木分会長とあいさつに立った



滝沢市公民館 県民の安全が確保されない共同訓練反対 ＝日米共同軍事訓練反対！総決起集会＝



戦争をさせない！岩手県委員会・社会民主党岩手県連合・平和環境岩手県センターの3団体が主催する、「日米共同軍事訓練反対！総決起集会」が1月24日、滝沢市公民館で開催された。1月28日から2月8日まで滝沢市の岩手

山演習場で実施される共同訓練に反対する市民・労働組合ら180人が参加した。(国労からは20人が参加) 集会は、阿部哲巳平和環境岩手県センター副議長が開会あいさつを行い、小西和子社会民主党岩手県連合代表が「第3次安倍政権のもとで戦争関連法案が目論まれている。沖縄の基地負担軽減を名目に進める方針だ。県民生活の安全を確保する観点からも容認することはできない」と訴えた。

戦争をさせない！岩手県委員会・代表呼びかけ人の石橋乙秀(おとひで)弁護士が「この通常国会で戦争に向けた法整備が行われるが、これから先の長い闘いが続いていく。安倍首相は過去の戦争を

反省していない。過去を反省しない人は必ず過ちを繰り返す」と改憲を推し進める安倍政権を批判した。 続いて、平和環境岩手県センターの野中靖志事務局長が①日米共同軍事訓練についての問題点②米軍輸送機オスプレイの危険性③の2点について情勢報告を行い、「欠陥機オスプレイは度重なる重大事故によりすでに30人以上が死んでいる。低空飛行訓練が行われれば滝沢市や盛岡市を含む本県上空で実施され、県民生活の安全が確保されない中、到底容認できるものではない」とオスプレイの訓練に反対の考えを示した。

集会終了後、代表団は陸上自衛隊第9師団に「日米共同軍事訓練の実施に反対し県民の安全確保を求める請願書」を提出することを報告し閉会した。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後退」とし、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

2015春闘勝利
国労東北協議会総決起集会

日時 2015年3月6日(金)
12時00分～15時30分

場所 仙台市民会館 022-262-4721
(仙台市青葉区桜ヶ丘公園)

内容 第1部 東北労働講座
[15春闘情勢と労働運動の課題]
講師 寺西弘樹氏
(まなぶ編集長)

第2部 春闘勝利総決起集会
(千代田・同会場から仙台駅付近)

＝組合員多数の参加を＝

地本互助会だより

万が一にそなえよう
自分と家族のために
＝期末手当加給付制度＝

互助会の「期末手当加給付制度」は、病気等の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。

制度発足以来13年を経過し今日まで給付件数は109件。給付金も1、089万円ほど支払いをさせて頂きました。

給付を受けられた組合員からは「付加給付制度」に加入をしていて本当に良かったと声を大にして喜ばれ、互助会として生活保障の一躍を担うことができました。

是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、今制度に加入されますようご案内致します。

今回の募集は、2015年4月期加入となります。掛金は、2015年4月から徴収し、給付発生は、今年の年末手当減額分となります。

それ以降の加入時期は、

「互助会」及び「期末手当加給付制度」の加入手続きは、3月15日まで分会担当または、互助会事務局へ直接電話で加入の申込みをして下さい。

「給付金」
期間率1日につき、1000円給付。

「互助会加入が条件」
3月15日迄に手続きを

4月期加入・増口案内
期末手当付加給付制度

〈掛金徴収〉
・2015年4月から

〈給付発生〉
・2015年年末手当減額分から

〈期間率調査期間〉
・2015年4月1日～
2015年9月30日

〈問い合わせ先〉 担当・村上真一まで
(毎週・木曜日勤務)

TEL (JR) 033-2276
TEL (NTT) 019-652-4841